



「自律」

「協働」

「創造」

第8号
令和6年12月25日
発行者 大槻 亨
編集 相川 直綱

平和な世界へ 道徳授業地区公開講座 その2

校長 大槻 亨

早いもので今年も残すところ1週間となりました。いよいよ明日からは冬休みが始まります。全校三者面談では、お忙しい中ご来校いただきまして誠にありがとうございました。面談の中では、3年生は進路について、1、2年生は2学期中の学習面や生活面、学校行事への取組など学校生活の様子について話し合われたことと思います。話し合いの内容を3学期に活かせるように、今後ご家庭と連携を図りながら教育活動を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

先月号では、10月21日(月)に実施した道徳授業地区公開講座の様子をお知らせいたしました。今回は、11月9日(土)の道徳授業地区公開講座の様子をご報告いたします。

《第2回目 被爆体験伝承講話 11月9日(土)》

第2回目は、広島平和文化センターから派遣された講師の先生による被爆体験を伝承する講話を行いました。

講師の先生からは原子爆弾により被爆した國重昌弘さんの体験を語っていただきました。講師の先生は、國重さんから直接体験を伺い、何年もかけて研修を受けた上で伝承講話を行っていらっしゃいます。國重さんは当時14歳で被爆しました。大中生と同年代の目線で語る体験は、生徒たちに響いたものと思います。お話の中では、爆弾の恐ろしさだけでなく、平和への切なる願いをお聞きすることができました。



奇しくも、日本被団協がノーベル平和賞を授賞したタイミングと同時期となり、授賞式で語られた田中さんの長崎での被爆体験は、今回の講話に重なるものとなりました。

「原爆を投下されて、悲惨な思いをさせられた。だから仇を討ちたい。でも、げんこつでやられたから、げんこつでやり返しても、またげんこつが返ってくるだけだ。だったら、核兵器を止めればいい。」という國重さんの言葉は、ノーベル平和賞の授賞式で語った田中さんの次の言葉と重なります。

「自分たちが体験した悲惨な苦しみを二度と世界中の誰にも味わわせてはならないとの思いを強くしました。」そして、田中さんは講演の最後をこう締めくくりました。

「人類が核兵器で自滅することがないように、核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう」

國重さんや被団協の田中さんらの思いを継承し、平和な世界を求めて次の世代の私たちが努力を続けていかなければならないとの思いを強くする機会となりました。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。どうぞよい年をお迎えください。

【被爆体験伝承講話 生徒の感想】

私は、よく社会の授業や英語の授業で被爆についての話を耳にしていました。英語の授業では、二中の生徒さんの日記について取り扱っていました。ですが、教科書で見ると実際に被爆体験伝承講話を聴くのとではその時の状況の認識が違いました。今回の被爆体験伝承講話は被爆した瞬間のことだけではなく、その日の前日や被爆して家に帰った後のこと、近所の知り合いの人のこともお話してくれたので、自分だったら…と自分事としてとらえることができました。それと同時に原爆の残酷さを再認識できました。(3年生)

私は、小学生の時にも被爆体験の話を知りました。その時には怖いという感情が一番残っていました。しかし、3年以上たって、被爆体験の話を知ると、怖いという感情とともに世界平和を目指していきべきだという考えが思い浮かびました。私は、原爆についての動画や本をいくつか見たり読んだりしたことがあります。いままで学んできたことを踏まえると世界平和は目指していきべき難しいものであると思いました。誰もが自分が有利になるような行動をします。これは国も同じです。しかし、人々を死に追いやる理由にはならないと思います。これから、世界平和のために今回の事を身近な人に伝えるなどできることをしたいです。(3年生)

今日の被爆体験伝承講話を終えて私たちと同じぐらいの年齢の人の実際に被爆体験をした人の気持ちやそこで起きた状況について理解することができました。また、今まさに戦争が起こっていますが、このような出来事を世界中の人たちが学んで二度とこの悲劇的な出来事を繰り返さないようになっていけばいいなと思いました。私も今回の被爆体験伝承講話を受けて家族や他の学校の友達にも戦争をしないこと核兵器を使わないことの大切さを伝承していき、命を大切に生きていきたいです。(3年生)

《別室登校について》

12月から別室登校を始めましたことをご報告します。別室登校は、学校生活に対して不安を抱いている生徒が、安心して登校でき、教室へ復帰するための一時的な居場所として開設しました。また、別室を利用することで、自分にあった学習ペースや生活リズムを確立していくことも目的としています。

火・水・木の午前中に図書室を開放しています。三者面談の折に個別にご案内をしておりますが、ご希望がありましたら、担任までご相談ください。

大泉中生の活躍

1	個人	平成つつじ公園トイレデザインコンテスト デザイン部門	優秀賞	村野 慶俊
2		第14回こどもエコ・コンクール中学生部門	入選	松岡 小春
3	卓球	第61回練馬区中学校生徒総合大会 卓球男子シングルス	第3位	山口 英真
4	バドミントン	第18回バドミントン中学1年生大会 女子の部	準優勝	草野 秋歌
5			第3位	野瀬 美幸
6				小池 楓
7	個人	ジュニアリーダー養成講習会 中級	修了証	小山 優香
8				植田 真心
9				内田 ひかる
10				檜物 杏奈
11				岩淵 結希
12				道須 みのり
13	個人	中学生の「税についての作文」(練馬区)	税務署長賞	西田 愛加
14			東京連合会優秀賞	鬼塚 玲衣
15			練馬西連合会長賞	廣田 璃子
16			優秀賞	岡部 紗季
17			都税事務所所長賞	上田 晴陽
18	個人	練馬西間税会 令和6年度「税の標語」	練馬西間税会会長賞	石井 里奈
19			優秀賞	岩瀬 倅輝
20			佳作	安齋 紗生
21	吹奏楽	第10回東京都吹奏楽新人大会 B部門	銀賞	